

(1) 工事コストの低減

④技術開発の推進

春日井共同溝工事において、今回、入札時VE（設計・施工提案型）方式にて入札を行った結果、リレービット工法、QBセグメント等の新技術の提案によりコスト低減が図られました。

【工事概要】

春日井共同溝は、国道19号の路面下に電力・通信設備を収容する延長約6.8Kmの共同溝であり、砂礫層を一台のマシんで通過する我が国最大級の長距離シールド工事です。（仕上がり外径φ4,650mmの泥土圧式シールド）

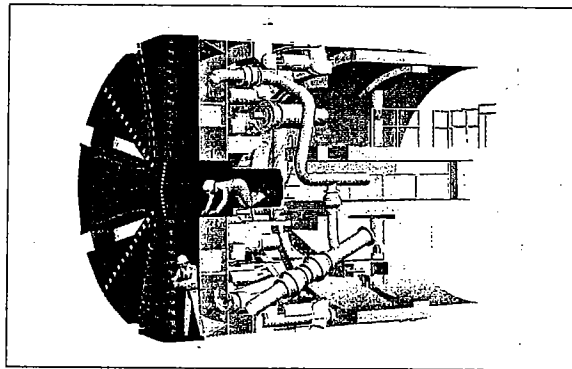
【新工法の特徴】

① リレービット方式（泥土圧式シールド）

”いつでも、どこでも、何回でも、カッタービット交換が可能”

”補助工法なしでカッタービットを機内から安全に、即時交換”

イメージ図



② クイックブロック（QB）セグメント

”セグメントの拡幅化（L=1,300mm）”

・作業効率の向上

・防水箇所が減によるコスト縮減

”セグメント分割数の変更”

・等分割による製作コストの縮減

”セグメントの自動組立”

・高品質な仕上がり、作業の安全性の確保

本工事の場合、全体工区延長6.8Kmにおいて、直接工事費で約5億円の
コスト縮減が見込まれます。